



年明けの雪化粧

議会だより

第29号

もくじ

12月定例会	8	● 審議結果	11
● Pick Up!	8	一般質問	12
● 主な質疑	9	編集後記	14
● 補正予算	10		

令和2年第4回定例会が12月8日に開催され、人事案件4件、条例・規則の改正3件、補正予算5件などが提案され、いずれも審議の結果、原案のとおり同意または可決した。



健康増進と地域コミュニティの発展に向けて ～ 生涯スポーツ施設整備事業を予算化 ～

【一般会計補正予算第6号 水上村生涯スポーツ施設整備事業】

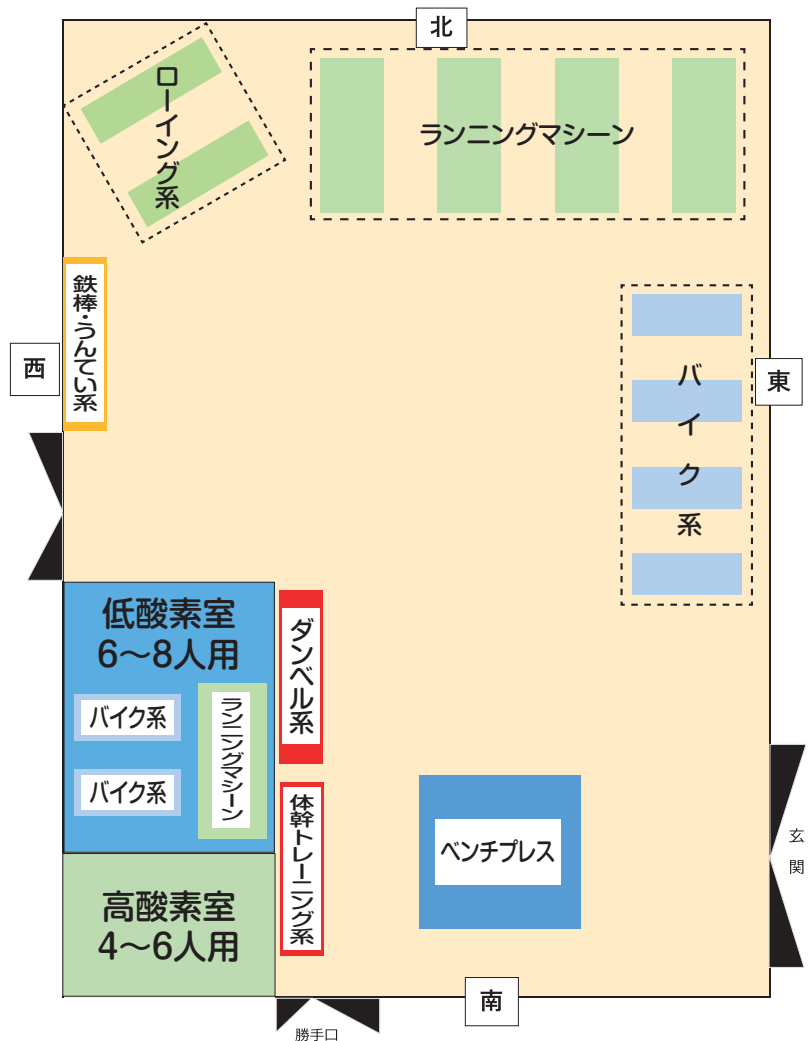
補正予算では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って生涯スポーツ施設を整備するための予算50,800千円を可決した。

新型コロナウイルスが長期化の様相を呈し、村民の健康福祉の増進に大きな影響を及ぼしている。また、村のイベント、地域の行事などが軒並み中止に追い込まれるなか、これまで当たり前のようであった地域のコミュニティが失われつつある。

今回整備される新たなスポーツ施設は、新型コロナウイルス対策に配慮した施設として、村民の健康増進、地域のコミュニティを回復・発展させることが目的となっている。

同スポーツ施設は、トレーニングフロアに高酸素ルームと低酸素ルームを完備し、15種類のトレーニング用器具を設置予定。さらに隣接する屋外には歩行用プール62.5㎡が新設される。改修予定面積は137.7㎡で、立地については山の幸館西側、現在使用されていない農産物加工施設を活用する。

水上村生涯スポーツ施設スポーツ器具配置予定



改修予定の山の幸館西側加工施設

疑問点を問いただす!

― 主な質疑 ―

● トレーニングルーム新設について

小野 頼年 議員

Q 整備場所は山の幸館の加工施設を改修するとなっているが、元湯を利用すれば経費も節減でき、温泉利用者も多くなると思うが、決定したのか。

A 堤田教育課長

国から示されたコロナ対策交付金の事例集を用いて、空き施設を利用する。

米良 哲 議員

Q スポーツ器具備品購入費として980万円計上されているが、購入する器具の種類と使用料についての検討は。

A 堤田教育課長

低酸素、高酸素ルームを含めると15種類ほどになる。今後、設置条例の中で使用料をお示しさせていただきたい。

● 災害復旧について

荒嶽 晋 議員

Q 農地災害について、復旧の見通しなど地権者に対する説明はいつ頃までにどのような形でされる予定か。

A 甲斐建設課長

発注の時期等の打合せが済んでから連絡するよう指示しており、すでに連絡を始めています。

Q 林道災害に関して、山林所有者に対する説明は。

A 甲斐建設課長

林道について、地権者に対する連絡は考えてなかったが、問い合わせがあれば再来年までの計画はある程度立てているのでその旨伝えていきたい。

● 公共施設のLED化について

杉野 久志 議員

Q 保育所管理費でLED化工事とあるが全てを行うのか。

A 西本保健福祉課長

両保育所とも全面改修の予定。

Q 小中学校と庁舎のLED化は。

A 中嶽村長

小中学校については学び舎であり、予算確保ができれば速やかに行う。庁舎は一番最後になると思う。



令和2年度水上村
一般会計補正予算(第6号)

一般会計補正予算 5億5,410万円 追加

歳入歳出予算の総額に5億5,410万円を追加し、総額を47億810万円とするもの。

庁舎エレベータ整備工事450万円、庁舎防火区画整備工事400万円、岩野保育所・湯山保育所LED改修工事150万円、生涯スポーツ推進事業費5,080万円、令和2年災農地等災害復旧費8,340万円、令和2年災林道施設災害復旧費1億1,350万円、令和2年災公共土木施設災害復旧費2億8,200万円、単独災害復旧費800万円などの事業が追加計上された。

令和2年度水上村国民健康保険特別
会計(事業勘定)補正予算(第3号)

国民健康保険特別会計

歳入歳出予算の総額に256万9,000円を追加し、総額を3億2,482万2,000円とするもの。



令和2年度水上村介護保険
特別会計補正予算(第3号)

介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額に2,005万6,000円を追加し、総額を3億9,868万6,000円とするもの。



令和2年度水上村後期高齢者
医療特別会計補正予算(第2号)

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出予算の総額に17万2,000円を追加し、総額を3,588万4,000円とするもの。



令和2年度水上村簡易水道事業
特別会計補正予算(第4号)

簡易水道事業特別会計

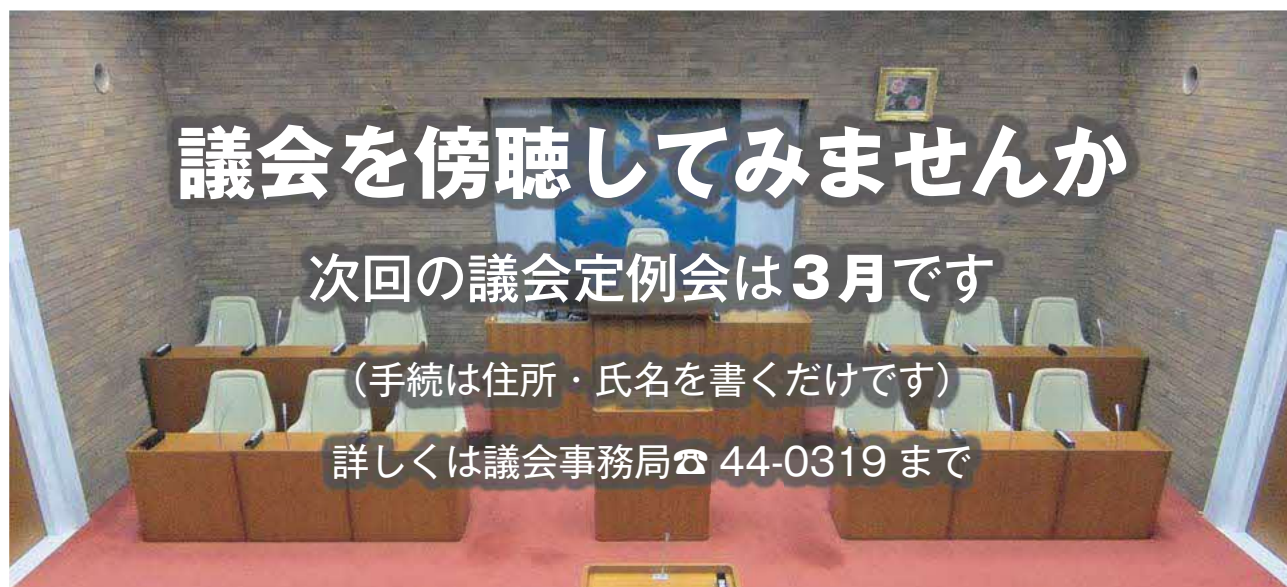
歳入歳出予算の総額に10万円を追加し、総額を7,797万5,000円とするもの。



いずれも審議の結果、原案のとおり可決した。

条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	水上村固定資産評価審査委員会委員の選任同意	湯山馬場地区 かわはら かつひで 川原 勝英 氏を選任	同 意 (全員賛成)
議案第2号	水上村固定資産評価審査委員会委員の選任同意	江代古屋敷地区 くろぎ もとし 黒木 元資 氏を選任	同 意 (全員賛成)
議案第3号	水上村教育委員会委員の選任同意	岩野里坊地区 ちば ひろみ 千葉 弘実 氏を選任	同 意 (全員賛成)
議案第4号	水上村教育委員会委員の選任同意	岩野川内地区 あまひ ひでのり 余利 英徳 氏を選任	同 意 (全員賛成)
議案第5号	水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	被保険者均等割額及び世帯別平等割額を軽減する所得判定基準額の見直し	可 決 (全員賛成)
議案第6号	水上村工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定	上位法である国の法律の改正にともなうもの	可 決 (全員賛成)
発委第1号	水上村議会会議規則の一部を改正する規則	会議の欠席事由を拡大するもの	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)



村の現状！今後の見通しは！！

Q. 増加する耕作放棄地対策は

A. 担い手の意欲が減退しない 施策を



尾前 武志 議員

問 本村の耕作地の現状と課題はどのようなことが。

答 川俣産業振興課長

令和2年の農林業センサスによると、経営耕地面積は210haで、昭和50年の610haからすると、45年間で400ha減少している。また、農業者の高齢化、離農や経営規模の縮小、後継者不足、兼業化による農地の遊休、荒廃地化等の課題がある。

問 本村の耕作地を守るためには、主食用米の生産に力を入れるのが一番だと思いがいかがか。

答 川俣産業振興課長

主食用米は本村で一番慣れ親しんだものだと考えており、政策的に進めていきたい。

問 県は球磨川流域に、緊急治水対策として、水田の貯留機能を活用した「田んぼダム」を推進すると発表しているが、村としての考えは。

答 中嶽村長

今回蒲島知事が流域治水、川辺ダムが必要だという大きな決断をされた。しかし、ダムだけでは守れないということと、流域全体で守っていくという発想から「田んぼダム」を考えていこうということになった。本村でも県から依頼があり、20ha以上取れる湯山中央辺りで実証実験をやらせていただければと考えている。

問 「田んぼダム」はすぐにも取り組める治水対策だと思ふ。そのためには安定した水稻栽培を行うことしかないと思ふが、その場合どういったことが必要になるか。

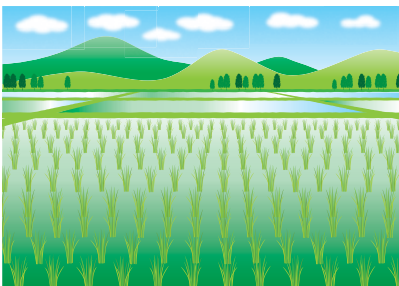
答 中嶽村長

高品質で売れる米を作り、販売は村、(株)みずかみなどで進めていくことが一番だと思つている。主食用米の栽培については、どんどん推進していきたい。

問 過去にあった所得補償制度を本村に合った形に変え、耕作放棄地対策、安定した米づくりに取り組む考えは。

答 中嶽村長

今年の補正予算で高収益作物について国の施策で10aあたり5万5,000円が支給されることを農家に広く周知した。加えて農家の生産意欲を落とさないよう、村で10aあたり5万円を上乗せして支給している。また、平成28年から村単独での新たな担い手給付金制度もつくった。今後も農家を継いでいく人たちの意欲が減退しないような施策を検討していきたい。



議員のなり手不足解消を

～ 会議規則を一部改正 ～

平成 31 年の統一地方選挙における無投票当選者の割合は、町村議会で 23.3%に達しており、毎回増加の一路をたどっていることはご存知だろうか。

近年、議員のなり手不足は全国的な問題であり、とりわけ本村のような小規模自治体には特有の問題である。

議会を欠席できる事由を見ても、現行の規則では「事故のため」「議員本人の出産のため」の2つに限られ、昨今の社会情勢に照らしたとき非常に厳格な規定となっている。

議員のなり手不足を解消するには、地域に貢献したいと考えている多様な層の住民が、より議会に参画しやすくなるよう環境を整備することも大切である。

以上のことから会議規則の一部改正を行い、欠席事由に「疾病、配偶者の出産補助、家族の看護又は介護、育児」を追加した。

議会活性化特別委員会

委員長 小野頼年・副委員長 山崎隆浩

議会 ICT 化へ向けて

～ タブレット操作に全集中 ～

令和 2 年 10 月 27 日、議会と執行部合同によるペーパレス会議システムのオンライン説明会を開催した。

ペーパレス会議システムは、昨年の 9 月定例会で「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を使った事業として予算化している。同システムが搭載されたタブレットは、議会においては定例会などの本会議や全員協議会などで、執行機関においては課長会などの各種会議や長期出張中における打合せ、あるいは在宅ワーク環境下でのオンライン会議などで使用できる。これまでの紙の資料に替えてデータ資料を活用するため、紙や印刷費が節減できるだけでなく利便性も高まる。

当日は慣れない操作に悪戦苦闘。しかし、今後も様々な場面で利用することが想定されるため、これも時代の潮流と前向きに捉えて議会の ICT 化を進めていきたい。

なお、定例会でスムーズに使いこなすには今後も研修が必要で、準備が整った時期を見て本格的に活用する。



操作に苦戦する議会議員

議会活性化特別委員会

委員長 小野頼年・副委員長 山崎隆浩

救命救急に力強い味方

～ 通算4度目の寄贈 ～

令和2年12月24日、上球磨消防組合消防本部で高規格救急自動車贈呈式が開催された。寄贈した日本損害保険協会は、地域の防災力強化や救急医療体制の整備を目的として、消防車両や救急車両を毎年全国に寄贈しており、上球磨消防組合へは高規格救急自動車一台が寄贈された。これまでも同組合には救急車やポンプ車などが寄贈されており、今回で通算4度目の寄贈となった。



寄贈された高規格救急自動車

寄贈された高規格救急自動車に内装・装備等を施し、救急救命士による高度な救命処置が可能となっている。地域住民の安心安全な暮らしを守るため、長きにわたる活躍を期待したい。

上球磨消防組合議会議員
米本 宗徳



安牧神社の狛犬

広報特別委員会
委員長 米本 宗徳
副委員長 山崎 隆浩
委員 杉野 久志
尾前 武志

尾前 武志

新しい年となり、早いもので1ヶ月が過ぎようとしているが、昨年から様々なことが起こっている。新型コロナウイルスが発生して、これまで多くの方々が感染し亡くなっている。国内では東京オリンピックをはじめ、本村でも桜まつりなど多くのイベントが延期または中止となった。ワクチンが開発され、接種され始めるが、まだまだ終息は見えない。

また、昨年7月には熊本豪雨災害が発生し、多くの人命が奪われ、家屋に浸水被害があり、自然豊かな元の姿に戻るのには、果たして何年かかるだろうか。

私たちは自然とともに暮らしている。うまく付き合っていくにはどうしたらいいのか、答えが出ない問題だと思ふ。

今年は丑年である。一歩ずつ、確実に、地を踏みしめて、ぼちぼち、前に歩いて行こう。

編集後記